

アースアキュライザーの総括

1. アースアキュライザーの導入経過

インフラノイズ社から、アースアキュライザーが発売されたとの情報を入手し、すでにデジタルアキュライザーDACU-500、USBアキュライザーUACU-700、アナログアキュライザーAACU-1000、バランスアナログアキュライザーBACU-2000、ヴォリュームアキュライザーVRA-7、ターンテーブルアキュライザーTACU-1、スピーカーアキュライザーSPA-7、LANアキュライザーLACU-1など、一連のアキュライザーシリーズを使用し、その効果には信頼を置いており、また、仮想アースを数多く使用していることから早速導入を決めました。

2. アースアキュライザーの適用対象

インフラノイズの取説などの情報から、機器同士の接続や金属製の家具や建物の構成物との接続にも使用可能ということですが、設置環境の問題から長さが足りないとか、機器同士ではペアとなる片方にアースポイントがないとかで評価できていません。その代わりに、ほとんどの機器に仮想アースの市販製品ないしは自作の仮想アースがありますので、そこへの接続が主な対象になっています。

3. アースアキュライザーの効果の概要

以上のように仮想アースとの接続を主に実施してきた経過から、フォノイコライザー (ZANDEN Model 120)、プリアンプ (Leak Point 1)、DAC (Brooklyn DAC+ / Sonica DAC)、ステップアップトランス (Stage 1030)、共通アースポイント (自作)、スピーカーのマイナス端子あるいはスピーカーアキュライザーのマイナス端子 (FAL C90-EXW / SPA-7)、およびプリメインアンプ (Rogers Cadet III) などと仮想アースとの接続の既存ケーブル (Western 自作 / 光城精工専用アースケーブル) との置き換えなどで、幅広い対象で顕著な効果を認めてきました。但し、既存ケーブルへの継ぎ足しや直付け仮想アースの割込み中継などでは、本来のアースアキュライザー効果を十全に発揮させることはできませんでした。

4. アースアキュライザーの効果の増強

アースアキュライザーの感想文で入手した、AV ドーナッツは、内径 15mm、外径 45mm の形状が制限となって適用範囲が限られます。そこでアースアキュライザーに目をつけ、Brooklyn DAC+と仮想アース Crystal E との接続に使用しているアースアキュライザーに AV ドーナッツを適用して効果を認めました。さらに、Leak Point1 の筐体アースのアースアキュライザー、TASCAM DA-3000 の

RCA ポートのアースのアースアキュライザー、ルーターの LAN ポートのアースのアースアキュライザー、PC の USB ポートのアースのアースアキュライザーでも AV ドーナッツを適用してみて、程度の大小はありますが、いずれも効果を認めました。つまり、まずアースアキュライザーの効果が歴然とあって、アースアキュライザーを AV ドーナッツに通すと、その効果が増強されるという結果でした。アースアキュライザーを入手した場合、AV ドーナッツも入手してコンビで使うと良いという結果になるということが分かりました。

5. アースアキュライザーの適用拡大

アースアキュライザーの評価が一段落した時点で適用箇所を決めて、その結果のフォローもしました。その後、さらに追加発注し、ここぞと思う箇所にも適用しました。この追加分を利用して、アースアキュライザーの適用拡大を図ることにしました。アースアキュライザーは、芯線ないしはクリップで、筐体アース端子に接続することができます。しかしながら、その他のポートのアース、例えば、RCA ポート、USB ポート、LAN ポートなどのアースに直接接続することはできません。これらへの専用アースケーブルが市販されているので、継ぎ足しをしてみました。アースアキュライザーの真価を発揮させることはできませんでした。

一方、光城精工の仮想アース **Crystal Ep** シリーズは、各種のポート直結の小型タイプで、各種のポートに対応する品揃えがなされています。このものは、本体とプラグがねじ込みで接続されており切り離しができ、そしてプラグ部分は別売りにもなっており、プラグ部分のみ購入すれば、適用ポートを自由に変えることができます。

<http://kojo-seiko.co.jp/products/crystalep.html>

そこで、このプラグ部分のみ購入し、そのネジ部分をアースアキュライザーのクリップで接続して、アースアキュライザーと組み合わせることを思いつきました。今回は、RCA ポート、USB ポート、LAN ポート用のプラグを購入してアースアキュライザーで仮想アースに接続してみました。

Case1 : TASCAM DA-3000

Ep-typeR (RCA ポート用プラグ) によりアースアキュライザーで自作仮想アースに接続

ルーター

Case2 : Ep-typeL (LAN ポート用プラグ) アースアキュライザーで自作仮想アースに接続

Case3 : PC

Ep-typeUA (USB ポート用プラグ) によりアースアキュライザーで **Crystal E Jtune** に接続

以上の、どの Case でも、現状の専用アースケーブルより、程度の差はありますが、

Ep用プラグとアースアキュライザーを組みあせた場合の効果があることが分かりました。また、上記のアースアキュライザーをAVドーナッツに通すとアースアキュライザーの効果を增強できることも分かりました。

さらに、アースアキュライザーを購入せずとも、プラグ部分と自作仮想アースを組み合わせることもできることを確認できました。

現在のところポートに使えるアースアキュライザーが1本ですので、効果が最も顕著であったTASCAM DA-3000のRCAポート用を常用とし、AVドーナッツもここに使用して落ち着きました。そして、LAN用とUSB用のEp用プラグは、当面自作仮想アース用として活用します。

6. まとめ

以上のようにアースアキュライザーは、アースを必要とするところには、どこでも適用可能であり、効果も顕著であることが分かりました。もともと脇役にすぎなかった仮想アースが、アースアキュライザーと組んで主役級に躍り出、さらにAVドーナッツが加わって、単なるアクセサリーの積み重ねと言えない最強のトリオになってきたという印象です。

以上